

# 区政のここが聞きたい

## 第1回定例会一般質問(要旨)

2月19日・20日

※本会議と予算・決算特別委員会の録画中継を区議会ホームページで公開しています。

縁よしのこの街をよく美しくつくりひらく展ひろく



自民党豊島区議員  
吉村 辰明

### ●進展してこなかった都区の役割分担について

**問** 都知事とどのように向き合うのか。  
**答** 都区の役割分担の見直しなど、解決しなければならぬ諸課題があるが、都区一体となつて取り組むことが大事である。

### ●平成25年度予算と財政運営について

**問** 新政権の施策が区財政に及ぼす影響は。  
**答** 木密事業等の都区整備分野等について、追加や前倒しを検討。国の補正予算を活用し、区の負担軽減を図っていく。

**問** 25年度当初予算は。  
**答** 生活保護制度の見直しだけではなく、他制度への影響なども十分把握し対応する。

**問** 予算の方針と特徴は。  
**答** 27年度までの複数年度を見通して編成。新たな取組みによる成果が感じられる予算。

**問** 見直しの際の事業基準は。  
**答** 事務の改善、効率化による経費削減を求めたもの。

**問** 安定的な財政運営は。  
**答** あらゆる分野で総点検を行い、事業や施策、組織やシステム全体の見直しを行っていく。

### ●東池袋の再開発について

**問** 再開発が起きている背景は。  
**答** 現庁舎など拠点となるまちづくりを動かしている現実に、民間が敏感に反応している。

**問** 民間ビル建設への区のかかわりは。  
**答** 民間企業に直接出向き、早い段階から協議を重ねている。

**問** 池袋駅東口の街づくりは。  
**答** 池袋のブランドを構築するチャンスが到来。魅力あるまちづくりのために汗をかくことが、民間を動かす大きな力になる。

**問** 池袋駅の安全確保は。  
**答** 池袋駅及び駅周辺整備検討委員会の中で、池袋駅の安全を最重要課題と位置づけ、実現に向けて積極的に検討を進める。

**問** 鉄道5社の相互運転は。  
**答** 池袋にとって大きなチャンス。魅力と活力ある池袋副都心を創り上げていく。

**問** 池袋のPRと観光客誘致における民間との協力は。  
**答** 西武線サミット等を通じ、ティセールの強化に取り組む。民間団体主体のイベントを、これまで以上にサポートしていく。

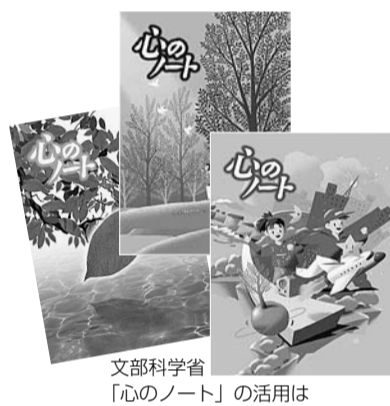
### ●団塊対策について

**問** 団塊世代の実態と、経験を活用した就業支援は。  
**答** 64歳から66歳の方は1万1千576人。地域貢献活動を推進する地域班の強化などを検討。

### ●教育について

**問** 道徳教育の位置づけは。  
**答** 10カ年の教育振興基本計画・教育ビジョンに位置づけていく。

**問** 10カ年の教育振興基本計画・教育ビジョンに位置づけていく。



文部科学省「心のノート」の活用は

**問** 「心のノート」の活用は。  
**答** 自己を見つめ、自己と向き合い、人として深く考えること。全児童・生徒へ配付する予定。

**問** いじめ対策の状況は。  
**答** 小さないじめも許さない姿勢を貫き問題解決に導いてきた。セーフコミュニティ推進との関連は。

**問** いじめの取組みは、データに基づき予防していくセーフコミュニティの発想と軌を一にするものと認識している。

### ●平成25年度予算について

**問** 聖域なき事業の総点検の主な成果は。  
**答** 必要性が薄れたと判断し休廃止した事業で2千万円、自動販売機の設置など新たな歳入の確保で1千200万円。そのほか、様々な契約の見直し、決算状況を勘案した予算額の圧縮等で8億6千700万円の効果があった。

**問** 政策評価委員会からの意見が今回の予算にどう反映されたのか。  
**答** このたびの評価は、事業の廃止・縮小を主眼としたものではないため、ただちに25年度予算に反映されてはいない。

### ●健康施策について

**問** 我が党が提案した、がんの先進医療ローンの金利補てん事業の今後の取組みは。  
**答** 基本的な概要は決定しているが、今後は、想定されるあらゆる事態への対応方法を協議する。その後、事業のPRをし、6月から開始したい。

**問** 食物アレルギーの実態と調布市の事件を受けた対策は。  
**答** アレルギーを有する児童生徒数は22年度の198人から281人に増加。個々のアレルギー症状の正確な把握に努めるとともに、初期対応が極めて重要。個別の実情に十分配慮し、万全を期す。

**問** 今後の教育行政のビジョンは。  
**答** 「子どもたちに意欲と学びがいを、教師に教えがいを、学校に元気を」の精神を、さらに強固にしていく。



公明党  
中島 義春

**問** ピロリ菌による感染症の原因が多いと言われる胃がん。それに有効なABC胃がん検診を実施しては。  
**答** ABC胃がん検診の導入を含め、検診の改善に向けて医師会と協議していく。

**問** ジェネリック医薬品の普及状況は。  
**答** 本区の国保における昨年11月調整分の普及率は、数量シェアで約22%となっている。

### ●障害者総合支援策について

**問** 難病対策の対象となる疾病の種類や範囲は。  
**答** 当面の措置として、「難病患者等居宅生活支援事業」の対象疾病と同じ範囲である130疾患及び関節リウマチが政令で定める疾病として示された。

**問** 障害者総合支援法施行後の支援サービスの内容は。また、今後どのような拡充の計画があるのか。  
**答** 自立のための訓練や就労の支援等、幅広いサービスになる。

また、これまでも移動や自立の支援に力を入れてきたが、新たな支援の検討を進め、難病になつても尊厳をもって生きられる共生の社会を実現するために努める。

### ●木密不燃化対策について

**問** まちづくりを進めるにあたっては、住民の合意形成や相談へのきめ細かな対応が必要だと思ふが。  
**答** 初期期のコーディネート機能を強化し、速やかに課題解決を図り、円滑に合意形成を図ることが重要である。そのために、都市整備部の体制を強化し、盤石の態勢で臨む。

**問** 特定整備路線の支援策について、区はどのように把握しているのか。  
**答** 都で特別な支援策を講じていることとしている。詳細な内容は3月までに定めることになっているが、全権利者への意向調査や民間の専門事業者による相談窓口の設置など、新たな取組みが盛り込まれている。

### ●道路の維持管理について

**問** 東日本大震災では、道路下の空洞が原因で道路が陥没するケースが報告された。空洞調査を基にした計画的な道路整備が必要では。  
**答** 測定車両が大きいため5.5メ



木密不燃化対策について



1トール以上の幅員の道路でない  
と測定できないが、災害時に緊急輸送道路となる幅員の広い区道については、空洞調査の導入を検討したい。

今後の見通しは、整備完了達成率は30・2%。今後の見通しは、沿道建築物の建替えごとに後退工事を行うため、事業完了まで概ね60年を要すると考える。

**区民の命とくらしを守る**



日本共産党 小林 ひろのり

**●2013年度予算について**

**問** 区は本予算を「金が足りない」といい、総点検や枠配分で削って編成した。ところが、特別区税や財調交付金の増などで歳入は増え過去最大の予算規模となった。にもかかわらず余った金は財調基金に積み立てる方針で、結局区民の方を向いていない。削った福祉予算を元に戻し、区民生活の支援に使うべき。

**答** いずれも区の水準は23区で標準的。見直す考えはない。

**問** 生活保護にならずにすむ施策として貸付は必要。女性自立支援資金の廃止はやめよ。区独自の貸付を復活し、直接区民の相談にのるべき。

**答** 代替制度の充実等で同資金利用者が減り、廃止を提案した。支援メニュー充実で相談体制の強化・充実に努める。

**問** ②保育園待機児解消について入所希望者が大幅に増え4月の待機児童が増える。来年度中に認可保育所定員が97名増え、待機児ゼロにならない。抜本的な対策として、区有地等を検討し認可保育所の増設計画を立てるべき。

**答** 認可保育所の定員増や認証保育所誘致、区有施設等を利用した臨時的保育事業等の実施に取り組み。

**問** 影響は注視するが、現時点では国に要求する考えはない。

**答** 認可保育所の定員増や認証保育所誘致、区有施設等を利用した臨時的保育事業等の実施に取り組み。

**問** 生活保護の法外援護の入浴券の枚数を増やし元に戻せ。支給方法を改善せよ。

**答** 他福祉施策との均衡を考慮し判断する。支給方法は検討。未来を担う子どもたちへの対策を厚くせよ。就学援助水準の引上げや、修学旅行の交通費補助の復活をすべき。

**問** 今後の見通しは、整備完了達成率は30・2%。今後の見通しは、沿道建築物の建替えごとに後退工事を行うため、事業完了まで概ね60年を要すると考える。

**答** 当面現行水準を維持する。③新庁舎建設について

**問** マンションや商業ビルとの合築は、今後の管理・運営・修繕が複雑で建替えが事実上困難、庁舎機能も担保できない等指摘してきた。管理費、修繕積立金、ランニングコスト、管理規約案を直ちに示せ。管理規約は外部の専門家を含めた第三者機関による客観的な評価をすべき。

**答** 庁舎機能確保のさまざまな場面を想定・検証し、4月の副都心特別委員会には報告する。第三者機関の評価は必要ない。

**問** 資金計画は不動産市況に左右され不安定であり、反対だ。現庁舎跡地、公会堂、区民センターの計画について現時点での資金計画の見通しも含め答えよ。

**答** 新庁舎は保留床購入費等を含め約14億円、公会堂は約17億円、区民センターは約22億円を見込む。現庁舎跡地を活用し地代収入の一括受取年数で調整する考えに変更はない。

**●国民健康保険について**

**問** 来年度の保険料が区長会で決定した。特に保険料軽減の経過措置がなく、世帯や低所得世帯の保険料が高くなる。値上げとなる世帯数や上げ幅が大きい世帯はどこか。

**答** 世帯数は算出できない。上昇幅が最大と見込まれる住民税非課税世帯には減額措置を導入。値上げすれば区民の生活はますます大変になる。値上げを中止せよ。国や都へ補助金増額を求めよ。均等割を引き下げよ。

**問** 保険料値上げは中止しない。国に対し財政支援を訴える。均等割引下げのための区独自の予算措置を講じる考えはない。

**答** 医療費の一部負担金減免制度を改善せよ。当面区独自の制度創設を。特に高齢者には早急

**●新年度予算について**

**問** 行財政改革の姿勢は。今やらなければ将来に禍根を残すようなテーマには勇猛果敢に取り組み、取組みを持続できるようにする行財政のシステムを構築する姿勢が、今後あるべき行財政改革の姿勢と考える。

**問** 現行の行政評価制度による総点検が十分であると考えるか。

**答** 政策評価委員会の意見も参考としつつ、行政評価の実行性を高め、より適正な評価と改善に向けて努力する。

**問** 区民評価を施策に反映することはできないか。

**答** 区民からの評価や意見を聴く機会をできるだけ多く設け、最大限施策に反映したい。

**問** 事業の委託についてどのよう

**答** 人件費抑制のみを目的とするのではなく、サービスの質の確保を大前提とした事業の委託に努める。

**問** 職員の人員費と人員配置、人材育成について区の場合は。

**答** 職員定数の適正化及び人件費の抑制は、内部努力が中心と考える。適正な定員管理を行う。また、より多くの業務に精通した職員の育成に努める。

**問** 新庁舎整備の資金計画の見込みは。

**答** 現庁舎地の活用は、新庁舎整備と表裏一体の最重要課題と

**人に優しい豊島区とするために**



自治みらい 山口 菊子

**●新年度予算について**

**問** 行財政改革の姿勢は。今やらなければ将来に禍根を残すようなテーマには勇猛果敢に取り組み、取組みを持続できるようにする行財政のシステムを構築する姿勢が、今後あるべき行財政改革の姿勢と考える。

**問** 現行の行政評価制度による総点検が十分であると考えるか。

**答** 政策評価委員会の意見も参考としつつ、行政評価の実行性を高め、より適正な評価と改善に向けて努力する。

**問** 区民評価を施策に反映することはできないか。

**答** 区民からの評価や意見を聴く機会をできるだけ多く設け、最大限施策に反映したい。

**問** 事業の委託についてどのよう

**答** 人件費抑制のみを目的とするのではなく、サービスの質の確保を大前提とした事業の委託に努める。

**問** 職員の人員費と人員配置、人材育成について区の場合は。

**答** 職員定数の適正化及び人件費の抑制は、内部努力が中心と考える。適正な定員管理を行う。また、より多くの業務に精通した職員の育成に努める。

**問** 新庁舎整備の資金計画の見込みは。

**答** 現庁舎地の活用は、新庁舎整備と表裏一体の最重要課題と



区民評価を施策に反映

**●子どもたちへの学習支援について**

**問** 貧困家庭の状況把握は、どのようにしているのか。

**答** スクールソーシャルワーカーの派遣で、より正確な状況把握ができるようになり、地域関係機関等との連携が促進されている。今後も経済的理由で就学が困難とならないよう、実態把握に努め対応していく。

**問** 厳しい家庭環境にある子どもについて情報共有は。

**答** 関係する福祉・子育て、そして教育現場が、より緊密に連携をとれるよう教育委員会との協議を進める。

**問** 無料学習支援実施に向けた組織の連携は。

**答** 福祉、子育て支援、教育現場の緊密な連携を図り、潜在的な需要の把握に努め、積極的に学習支援、地域とのつながりを

**問** 確保できるよう取組みを進める。無料学習支援のシステムづくりには、「社会的な居場所づくり支援事業」の活用が可能では。

**答** ボランティアの活動、民生委員の取組み、コミュニティソーシャルワーカーによる学習支援などの地域資源を最大限に活かすシステム構築に向け、国庫補助金の活用も視野に入れ検討を進める。

**●清掃工場の運営について**

**問** 清掃一組職員削減と委託は、死亡事故発生と関連してないか。

**答** より一層の安全管理態勢の確立が重要と考える。

**問** 受付計量業務の委託は危険物混入の危惧あり。区の見解は。

**答** 仕様書に細かくやり方を盛り込むことなどで、異物混入の未然防止、安全運転の維持は可能と考える。

**問** 清掃工場の安全操業へ、区は積極的に関与してほしい。

**答** 今後とも、清掃工場の安全かつ安定的な運営に向け積極的に関与していく。

**●埋蔵文化財保護について**

**問** 文化財保護法の現状を、区はどのように受け止めているか。

**答** 法の精神にのっとり事業に取り組んでいる。発掘調査については、業者側と十分協議を行い、経費を負担する側の理解がえられるよう努めている。

**問** 埋蔵文化財事務に関わる体制はどのようになっているのか。

**答** 非常勤学芸員の増員、担当係長を設置する等、報告書発行に努力している。

**問** 「埋蔵文化財出土遺物」の保管を区はどう考えるか。

**答** 出土品の再整理、選別保管に関するルールづくりの検討を早急にはじめ。集中的に、管



認可保育所の増設を



**問** 理保管できるよう検討する。  
**問** 埋蔵文化財保護に関わる課題解決について区はどう考えるか。  
**答** 事業者の発掘経費の負担軽減に努力している。今後は区民、事業者の理解と協力を深めるために、出土遺物の活用事業を一層充実させたい。

**健康で安全・安心なまちづくりを目指してVI**



みんな・無所属刷新の会  
 関谷 一葉

●**放射性物質対策について**  
**問** ミニホットスポットでの測定の再開と、清掃については。  
**答** セーフコミュニティ国際認証都市としてふさわしい対応ができるよう、今後も定点観測を実施し、放射能をめぐる状況変化等を注視し、不測の事態には、迅速かつ的確に対応する。

●**ストレス対策に関して**

●**自殺・うつ対策に関して**  
**問** 区全体の自殺率は国や都よりも高く早急な対策が必要だ。区独自のメンタルヘルス対策を行うのか。  
**答** 23年1月より庁内関係部署及び地域関係機関を委員とした自殺・うつ病予防対策委員会を設置し、情報分析や対策の検討を進めている。

**問** 区民健診で、ストレスチェック等を行う予定はないのか。  
**答** ストレスチェックについては、厚生労働省における効果の検証はされていないことに加え、効果測定精度の確保が難しい。当面、区民健診に、導入する予定はない。

**問** 若い女性の自殺率の高い本区は、どのように分析し、対策をしていくのか。  
**答** 詳しい実態については把握が困難なため、分析も十分にできていないが、対策委員会では、人口が流動的であることや風俗業との関連などについての意見があった。



メンタルヘルス対策を

**強いまち・優しいまち豊島区**



自民党豊島区議員  
 磯 一昭

●**震災に備えた防災都市づくりについて**  
**問** 本密地域不燃化10年プロジェクトに対する基本的な認識は。  
**答** 区の将来像を描く上で、安全・安心創造都市の大きな柱となる、極めて重要な施策である。

また、首都直下型地震に対応するためにも、早急に取り組まなければならない課題である。  
**問** 特定整備路線の事業化と沿道まちづくりの今後の展開は。  
**答** 特定整備路線は沿道まちづくりと一体となって、地域の防

災性や居住環境を向上させていくことを目的としている。特に、沿道まちづくりは、地域の実情に即し、地域住民と意見交換を行い、災害に強く、魅力ある街なみを築いていく。  
**問** 震災後の都市復興を円滑に進める事前対策の重要ポイントと具体的な対策は。  
**答** 地域住民と区が協議を進める過程で、震災後の街の姿を地域で共有のものとし、今から何ができるのかを準備し、復興計画を検討していくことが重要であり、震災に負けない地域力を築いていく。

は199施設あるが、築30年を超える施設が122施設ある。更に10年後には築60年を超える施設が14施設になる。現在、耐用年数や老朽化の度合い、利用状況等を勘案し、優先順位をつけ改修や建替えの計画を立てて対応している。  
**問** 施設の更新にかかる財源は。  
**答** 国や都の補助金等を活用して負担軽減を図り、抜本的に施設全体量を見直し、基金の将来の財源不足を解消する取組みが急務である。

**問** 「池袋駅周辺混乱防止対策協議会」の今後の活動は。  
**答** 協議会を発展的に改編し、「駅周辺エリア防災対策協議会」として、防災対策条例に帰宅困難者対策を推進する団体として位置付け、その役割や機能を強化する。

●**高齢化社会への備えについて**  
**問** 要介護にならないための施策の内容と効果は。  
**答** 比較的元気な方、要介護状態になる可能性が高い方用など専用のメニューを用意し、特色ある事業を実施している。体を動かすことにより、気持ちの上でも一定の効果が出ている。

●**民間活力・地域の人材を教育現場へについて**  
**問** セーフスクールの取組みを全区に広げるべきでは。  
**答** 地域人材の力を得て、学校の安全・安心対策のノウハウを区内全域に広げていく。  
**問** 優れた地域の人材をどのように教育に活用するのか。  
**答** 人材活用を教育課程に位置づけ、積極的に活用を推進する。

●**ワンコイン基金創設について**  
**問** 都市整備など目的を定めて、広く区民に協力を呼び掛けるのは、大きな利点なので検討する。  
**答** 寄附のしやすさという点では、大きな利点なので検討する。



帰宅困難者対策訓練

●**老朽化した公共施設整備について**  
**問** 公共施設の老朽化の現状と今後の方策は。  
**答** 区が維持管理している施設

●**子育て支援について**  
**問** 重点事業施策である待機児童対策だが、仕事と子育てを両立する環境整備にどう生かすのか。  
**答** 自治体が裁量で施策を実施しやすい状況となり、ニーズに



池袋本町地区震災復興まちづくり訓練

●**子育て支援について**  
**問** 重点事業施策である待機児童対策だが、仕事と子育てを両立する環境整備にどう生かすのか。  
**答** 自治体が裁量で施策を実施しやすい状況となり、ニーズに

●**区内圏域の考え方について**  
**問** コミュニティを圏域と考えると多くの区割りが存在し、複雑化している。しかし、圏域の検討の際は、長い歴史のなかで築かれたものを尊重すべき。  
**答** 住民や活動されている方の考えを聞くなど、時間を十分に

かけて相談していく。

●**防災・震災対策について**  
**問** 新たな10年へ、災害に負けない、人にやさしい豊島区を目指して

●**防災・震災対策について**  
**問** 防災対策基本条例で、防災

●**子育て支援について**  
**問** 重点事業施策である待機児童対策だが、仕事と子育てを両立する環境整備にどう生かすのか。  
**答** 自治体が裁量で施策を実施しやすい状況となり、ニーズに

●**区内圏域の考え方について**  
**問** コミュニティを圏域と考えると多くの区割りが存在し、複雑化している。しかし、圏域の検討の際は、長い歴史のなかで築かれたものを尊重すべき。  
**答** 住民や活動されている方の考えを聞くなど、時間を十分に

かけて相談していく。

対策をセーフコミュニティ活動の一つとして取り組むことを基本理念とした理由は。  
**答** 区民参加と協働の推進を地域防災力向上の面でも共通目標として捉えたもの。

**問** アレルギー疾患や難病患者、妊産婦・乳児等、災害弱者の避難所生活環境を良くするべき。  
**答** 救援センター運営マニュアルに災害弱者への配慮を記載、避難所運営に必要な配慮がされるよう周知を図る。

**問** 区の知見を集積し、対策に備えるべき。地域防災計画改定に向けた防災会議の体制は。  
**答** 女性や多様な生活者の視点を反映させる体制の充実と、女性委員の比率を高める。

**問** 地震時のエレベーター閉じ込め対策には、万全を期すべき。  
**答** 所有者等に改修等を依頼。今後も指導・助言を継続。

**問** 池袋本町地区震災復興まちづくり訓練に参加し、大変参考になった。成果や課題は。  
**答** 多様な年代の方も参加できるように、実施時期等を再検討し、更なる改善を図る。

**問** 学校の備蓄品について話し合うなど、児童・生徒に災害時の自助・共助の意識を高めるための防災学習の取組みは。  
**答** 学校への備蓄品搬入時に、児童・生徒を立ち会わせたり、物資の保存や使い方を確認させ、家庭での自助活動につなげ、防災意識を高めるよう工夫をする。

**問** 長岡市のように、学校の防災機能を充実させ、震災に負けない拠点となることが重要では。  
**答** 改築時に教育活動エリアから独立し、救援センター機能を発揮できるよう計画。既存校の大規模改修時の機能充実も図る。

**問** コミュニティを圏域と考えると多くの区割りが存在し、複雑化している。しかし、圏域の検討の際は、長い歴史のなかで築かれたものを尊重すべき。  
**答** 住民や活動されている方の考えを聞くなど、時間を十分に

かけて相談していく。

●**心の健康について**  
**問** 多くの区民が、うつ病や自殺予防の正しい認識を深めるための取組みを伺う。  
**答** 特に若者や働き盛り世代への啓発について、大学やNPO等と連携し取り組む。

**問** 国の補助金を活用し、「こころの体温計」事業導入を再度提案するがいかがか。  
**答** 有用な啓発手段だが、補助金の人口上限もあり、限られた財源を自殺予防対策にどのよう

に有効活用するか検討。

●**教育課題について**  
**問** 学校での備蓄品について話し合うなど、児童・生徒に災害時の自助・共助の意識を高めるための防災学習の取組みは。  
**答** 学校への備蓄品搬入時に、児童・生徒を立ち会わせたり、物資の保存や使い方を確認させ、家庭での自助活動につなげ、防災意識を高めるよう工夫をする。

**問** 長岡市のように、学校の防災機能を充実させ、震災に負けない拠点となることが重要では。  
**答** 改築時に教育活動エリアから独立し、救援センター機能を発揮できるよう計画。既存校の大規模改修時の機能充実も図る。

**問** コミュニティを圏域と考えると多くの区割りが存在し、複雑化している。しかし、圏域の検討の際は、長い歴史のなかで築かれたものを尊重すべき。  
**答** 住民や活動されている方の考えを聞くなど、時間を十分に

かけて相談していく。

●**心の健康について**  
**問** 多くの区民が、うつ病や自殺予防の正しい認識を深めるための取組みを伺う。  
**答** 特に若者や働き盛り世代への啓発について、大学やNPO等と連携し取り組む。

**問** 国の補助金を活用し、「こころの体温計」事業導入を再度提案するがいかがか。  
**答** 有用な啓発手段だが、補助金の人口上限もあり、限られた財源を自殺予防対策にどのよう

に有効活用するか検討。



### 安心して住み続けられる まちづくり、地域づくり



日本共産党  
儀武 たかひろ

#### ●高齢者福祉、介護保険の緊急改善すべきことについて

**問** 介護保険の改善により、ヘルパーの生活援助の時間短縮で一緒に買い物や調理をしていたが、時間が短くなりヘルパーに任せるようになった。これは厚労省が掲げている「自立支援」に逆行するもの。ヘルパーの時間短縮の撤回を国へ求めるとともに区独自施策で従来のサービスを続けるべき。

**答** いずれも必要と考えるではない。

**問** 特養ホームの待機者は1千235人、大変深刻。待機者数に見合った増設計画をたてるべき。

**答** 地域保健福祉計画の見直しで明らかにしていく。



特別養護老人ホームの増設を

**問** 現在、駐車場として暫定使用されている「都営巣鴨母子アパート」跡地に特養ホームの建設をすべき。

**答** 面積が狭小で整備にはなじまない。

**問** 緊急通報システム利用料が高すぎる。利用料の自己負担をなくすべき。

**答** 従来どおりとする。地域の核である巣鴨豊寿園

は、借り上げ期間を延長し存続すべき。

**問** 期間延長はしない。

●「木密地域不燃化10年プロジェクト」・特定整備路線補助81号線について

**問** 都がすすめるようとしている都市計画道路補助81号線は、巣鴨五丁目児童遊園、駒込七丁目第二児童遊園の面積の半分以上を削り、街のコミュニティを壊すことになる。どう考えるか。

**答** 道路を最優先してコミュニティを壊すという考えはない。

**問** また、駒込第一保育園の園庭がなくなる。子どもの育ちに地上の園庭は必要。子育ての環境が悪化するの認められない。

**答** 影響がないよう配慮する。

**問** 染井霊園一帯は広域避難場所に指定されている。防災公園「みんなの広場」もあるので、延焼遮断帯はすでに形成されている。この区間は、特定整備路線から除外すべき。

**答** 除外する考えはない。

●住宅政策について

**問** 区民の多くは低廉で良質の住宅を求めている。昨年8月の区営住宅の空き家応募倍率は25倍、福祉住宅は8倍、区民の願いに応えてこなかった区の責任は重大。区長の認識はどうか。

**答** 公的住宅を直接供給するのではなく、既存の賃貸住宅の利活用へ移行すべきと考える。

**問** 区営住宅を大幅に増設するために住宅マスタープランを見直すべき。

**答** 住宅対策審議会で検討する。

**問** 区内の都営住宅応募倍率は106倍、23区でダントツに高い。都に大幅建設を求めよ。

**答** 必要に応じて具申したい。契約満了の区民住宅は契約更新し、家賃補助をすべき。

#### 24時間365日の安心を目指して！ コンビニへのAED設置で、 夜間・休日の安全・安心の確保を！



みんな・無所属刷新の会  
小林 弘明

●AEDの設置場所、知っていますか？

いつでもどこでもわかりやすく、24h利用できるコンビニエンスストアへの設置を！

**問** 設置場所や利用時間をわかりやすくするため、コンビニなど24時間営業の民間施設にAEDを設置したらどうか。

**答** AEDは日頃の適切な保守管理が重要。国の設置推奨の動向を見極め、経費負担と適切な管理方法を今後検討していく。

●さあ、投票に行こう！  
わかりやすくカンタンな選挙のために、投票方法や期日前投票の周知徹底を！

**問** 昨年の衆議院議員選挙では、同時に3つの選挙に4回の投票

**問** 適切ではないと考える。住宅修繕資金助成事業は低所得者に限定せず、対象の拡大と予算を大幅に増額せよ。

**答** 25年度はモデル事業、対象の範囲や予算規模を検証する。

#### 豊島区政のさらなる スリム化を目指してⅢ



みんな・無所属刷新の会  
古堺 稔人

●豊島区における公共施設マネジメントについて

**問** 区のすべての公共施設を今後も現状通りに維持・更新することは財政的に不可能で、公共施設マネジメントが重要である。より効果的に行うために組織全体のマネジメント改革を実践すべきだが、区はどう考えるか。

**答** 「最少の経費で最大の効果」

をあげるべく創意工夫していく。区の公共施設マネジメントの必要性・課題・取組みは、厳しい財政状況下での施設維持の課題に対し、新たなマネジメントの手法を取り入れた。

**問** 今回と前回(19年度)作成の施設白書との相違点は。

**答** 今後の改修・改築経費を推計し、コストやサービスなどの

施設情報の評価や、再構築計画策定の方向性を示す。

**問** 公共サービス提供の費用対効果を明らかにするために、「公共施設の概要」に土地・建物の時価額を記載すべきでは。

**答** 掲載に向けて準備する。

**問** としま未来文化財団の施設管理コスト最小化への取組みは。

**答** 維持管理を外部委託する際、入札により業者選定している。

**問** 区が保有する施設の評価、適正量及び取捨選択時の優先順位についての考えは。

**答** 施設量として関連経費や将来

#### 未来に希望が持てる 豊島区を目指して！



みんな・無所属刷新の会  
古坊 知生



財団としま未来文化財団

●平成25年度豊島区予算案について

**問** 教育と福祉が区の施策の基本である。教育費のソフトの部分に係る予算について、前年度と比較してどのような変化や特徴があるか。

**答** いじめ対策の充実、学校図書館司書の全校配置を図り、ハード部分等の経費を除くと前年度より微増となった。

**問** 未来に希望が持てる豊島区を目指すならば、児童福祉にもっとプライオリティを置き、今までより充実させる方向を検討すべき。区の考えはどうか。

**答** 待機児童対策や学校の放課後対策を中心に、子ども施策を拡大・充実させた。児童福祉費は今後も拡大、充実させる。

**問** 木密地域不燃化10年プロジェクトについて、地域に対するこれまでの説明会や、今後の課題、展開について、状況はどうか。

**問** これまで各種説明会にて概要を説明した。合意形成などの課題を個別相談会等、住民の視点に立ち解決を図る。

●教育施策について

**問** 秋田県及び北陸三県の小・中学校の高い学力をどのように分析しているか。教育は人対人であり、人間関係が大事であることを忘れずに人材育成に力を注いでほしい。

**答** 学校、家庭、地域それぞれが教育的役割を果たしながら、学力の高い峰を築いてきたことが、その要因と受け止める。



学校の放課後対策